

報道関係者各位
プレスリリース

2018年02月23日
愛眼株式会社

**メガネのアイガンで3月3日(耳の日)から「聞こえの相談会」開催
難聴の早期対策が認知症予防に！シニア層へ補聴器の普及促進**

～全国247店舗にて10日間開催～

眼鏡専門店「メガネのアイガン <http://www.aigan.co.jp/>」を運営する愛眼株式会社(本社：大阪市天王寺区、代表取締役社長：下條 三千夫)は、3月3日の「耳の日」から10日間、全国のメガネのアイガン247店舗にて「聞こえの相談会」を開催いたします。



聞こえの相談会イメージ (1)

■聞こえの相談会の目的について

当社の経営方針である“お客様の暮らしを、より豊かに、より快適にする”を実現していくために、聞こえの相談会を10日間開催することで、「聞こえ」に関心を持っていただくだけでなく、聞こえに不安を感じている方が補聴器について気軽に相談できる場所があることを知っていただくことで、難聴の早期対応につながり、認知機能低下の予防につながると考えています。

■「聞こえの相談会」概要

名称 : 聞こえの相談会
日時 : 2018年3月2日(金)10:00~15:00
場所 : 高知中央郵便局(高知県高知市北本町1丁目10-18)
内容 : 1.聞こえ年齢測定
聞こえ年齢簡易測定(お一人様10分程度)。
測定後に、ご自身の聞こえの状態をご説明します。

2.最新補聴器体験

最新の補聴器のトレンドである、補聴器を装着したまま、
電話が聞ける補聴器をぜひお試しください。

期間 : 2018年3月3日~3月13日
実施店舗 : メガネのアイガン 247店舗(2018年2月1日現在)
※各店舗の営業時間はことなります

■メガネのアイガン「聞こえ」について知っていただく活動

- ・聞こえの日 : 2017年4月から毎月13日を「聞こえの日」に決定
店頭で「聞こえ」についてのパンフレットを配布(15万枚以上)
- ・聞こえの講座 : 2017年大阪市民活動総合ポータルサイトに参加
「聞こえ」について知っていただく「聞こえの講座」を開始
- ・補聴器CM : 2018年2月より補聴器レンタルのTVCMを開始

■「難聴になると認知症のリスクが高くなる」

2015年厚生労働省発表の新オレンジプランでは難聴は認知症発症の危険因子と上げており、難聴も認知症発症に、影響を及ぼすことが示されています。聴力の低下は、会話を理解するために聞き取りにかなり集中しなければならず、脳に余分な負担をかけることになり、脳の認知機能の負荷となることで、社会的孤立やうつ病につながり、脳の萎縮が加速することが確認されています。また加齢による聴力の衰えは40歳前後からゆっくりと進行するといわれているために本人が気づかないことも多くあります。

■欧米との比較(JapanTrak2015より)

欧米と比べ人口における「難聴者率」には大差をないものの、

「難聴者の補聴器使用率」を比べると日本は2倍以上低くなってしまっています

難聴者率(自己申告)日本：11.3%(国内推定約1430万人)※

補聴器使用者率日本：13.5%(国内推定約200人)※

難聴者率

1位	ドイツ	： 12.7%
2位	日本	： 11.3%
3位	アメリカ	： 10.6%
4位	イギリス	： 9.7%
5位	フランス	： 9.3%

補聴器使用者率

1位	イギリス	： 42.4%
2位	ドイツ	： 34.9%
3位	フランス	： 34.1%
4位	アメリカ	： 30.2%
5位	日本	： 13.5%

※総務省統計局発表の2015年3月1日現在の総人口(確定値)1億2689万人に今回のアンケート結果の率を乗じて10万人単位で四捨五入したものの。

■「メガネのアイガン補聴器」ページ

<http://www.aigan.co.jp/hearingaids/>

■メガネのアイガン店舗検索

<http://www.aigan.co.jp/store/>

私たち愛眼株式会社は、お客様の暮らしを、より豊かに、より快適にする企業となることを目指し、安心の技術、納得の商品、気持ちに寄り添うサービスを提供します